

エコライフDAY2014報告書

～ みんなで地球環境を考えた行動をし、二酸化炭素を減らしました ～

第15回 実施日 2014年6月8日(日)

参加者

102,284人



1日で減らせた二酸化炭素の総量

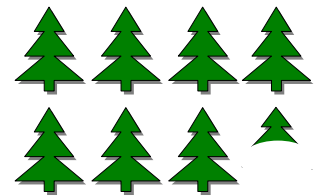
102,451,802g

約 102.5 t

たくさんのコメントやイラスト、ありがとう (^▽^) /

エコライフDAY 2014		小学校 年 級 男 女			
電気・ガス	誰もいない部屋の明かりを消すようにした。	28	28	28	28
	見ていないときは、テレビを消すようにした。	49	49	49	49
	テレビゲームや携帯型ゲームは、時間をきめてするようにした。(しなかった。)	201	201	201	201
	電池製品を使わないときは、充電機を切るかプラグをぬくようにした。	66	66	66	66
	冷暖房の設定温度はひかめにした。(目安:夏は28℃、冬は20℃)(つかなかった。)	156	156	156	156
	お風呂はさめないうちに、みんなで続けて入るようにした。	238	238	238	238
食	ご飯やおかずを残さず食べるようにした。	37	37	37	37
	近くの産地でとれたものを食べるようにした。(お家の人に聞いてみよう)	45	45	45	45
しげん	旬のもの(トマト・きゅうり・さくらんぼなど)を食べるようにした。	5	5	5	5
	レジ袋をもらわないようにした。	56	56	56	56
	マイボトルを持ち歩くようにした。	57	57	57	57
	エコ商品を使うようにした。(エコマーク®のついたものや省エネ製品など)	127	127	127	127
	ごみ出しルールにしたがって分けるようにした。	100	100	100	100
水	水やお湯を流しっぱなしにしないようにした。(歯みがきやシャワーのときなど)	217	217	217	217
	シャンプーやハンドソープなどを使いすぎないようにした。	72	72	72	72
車	外出するときは、歩いたり、自転車・バス・電車を利用するようにした。	340	340	340	340

上のCO₂の量は、杉の木*1が1年間に吸収する量に換算すると下のようになります。



7,353本分

(杉は1,000本の表示です。)

ご協力ありがとうございました。



「エコライフDAYチェックシート」

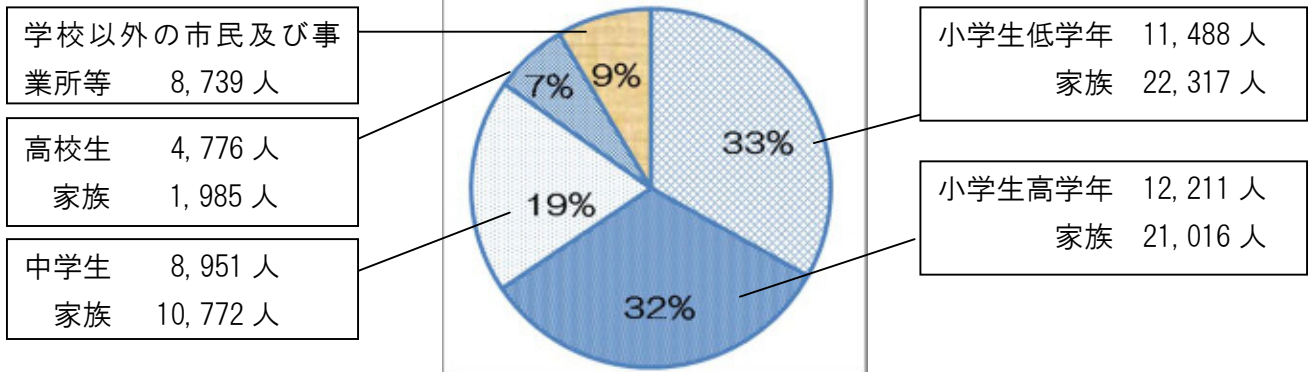
エコライフDAYについて

エコライフDAYとは、「みんなで地球温暖化*2防止にチャレンジしよう」という日のことです。6月の第2日曜日をエコライフDAYと定め、「エコライフDAYチェックシート」(=1日版環境家計簿)を使って、みんなで環境のことを意識した生活をします。この日をスタートとして“一年間を通して自分の生活を振り返り、これから何をしたいか考える日”です。なおこの取り組みは、2000年に認定NPO法人川口市民環境会議が始め、今年で15年目になりました。川口市・川口市教育委員会との共催事業として実施しています。

*1 直径26cm高さ2.2mの50年経った杉の木が、1年間に吸収する二酸化炭素量で換算しました。
*2 川口市では、「温暖化」という言葉は過ごしやすいイメージがあることから、「高温化」名称を変更しています。イラストは、在家小6年生、戸塚北小6年生の作品です。

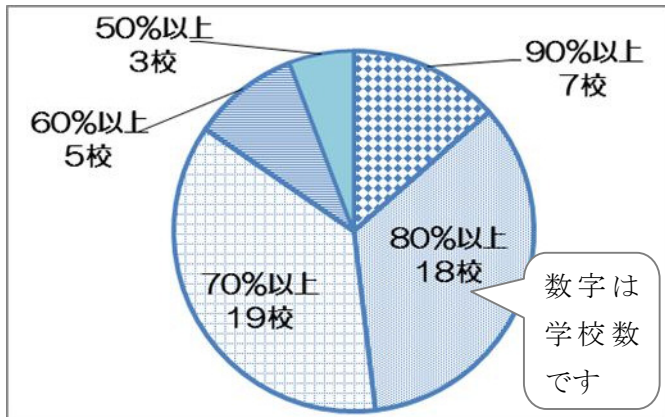
参加者内訳

参加者 102,284人 内訳

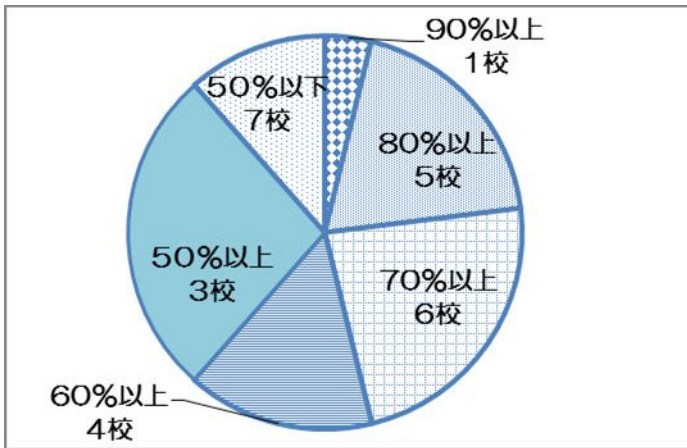


学校全体参加率 下のグラフは参加率ごとの学校数です

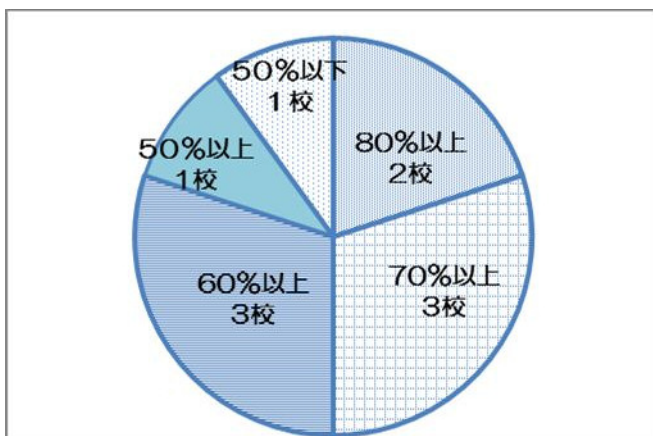
◆小学校 52校〈全体参加率 78.9%〉



◆中学校 26校〈全体参加率 64.2%〉



◆高校 10校〈全体参加率 63.4%〉



学校の取り組み（アンケートから）

- 使用しない教室・移動教室の電気、ヒーターを消す。エアコンは28℃設定で30℃以上の時使用。ヒーターは午前中のみ使用。（川口北高）
- プリントはなるべく余分に印刷しない。残りはごみにせずリサイクル。（上青木中）
- 掃除の際、ぞうきんすすぎ係を設定して、一度に全員分をすすぐことで水の使用量をおさえるようにしています。（北中）
- 教室に誰もいないときは電気を消す。歯磨きのときは水を出しっぱなしにしない。給食は残さない。国語などで字を書く際は消しゴムを使わないなど。（桜町小）
- 給食のお皿などは1切れのパンで最後にふく。授業中に出る小さい紙きれを入れる紙袋を用意してある。（戸塚南小）
- 家庭科の調理実習では洗いおけに水を入れ洗剤1, 2滴の石けん水を作って洗物をする。ウェスを用意し、皿などを拭いてから洗う。（幸町小）
- ゴミ拾い、10秒チャレンジ。（新郷小）
- 残さず食べることが、みんなができる1番のエコということをはなしています。（中居小）
- 給食のときはパンの袋を再利用し、ストローをまとめる袋や汚れたものを入れる袋にしています。清掃時間は教室の電気を消し、無口清掃の合図としています。エコライフDAYは年に数回あってもいいと思います。（青木中央小）



企業の取り組み 紹介

「みんなの幸せのために、みんなで力を合わせて」

株式会社 日環サービス

弊社の事業目的は、「幸せ」を実感できる安全、安心な環境づくりです。
地球環境問題は、その中の大きなテーマの一つであります。

2001年、ISO14001 認証取得以来目標を数値化し、様々な環境負荷の低減に努めてきました。

最近では、蛍光灯の個別のスイッチ設置やエアコンの入れ替え、今年2月には本社屋上を利用し太陽光発電をはじめました。

エコライフDAYは、かねてから本社員（30名）を対象に実施してきましたが、昨年11月に川口市地域貢献事業者の認定を頂いたことをきっかけに、12月より全従業員を対象に、年2回のエコライフDAYをはじめました。家族の参加も含めて、昨年12月は840名、今年6月は751名の参加、多くのコメントも寄せられたことで、少しずつ裾野の広がりを感じています。

環境問題は、市民一人ひとりが気付き、実行することも大切であります。みんなで力を合わせて、これからも地球高温化防止活動に取り組んで参ります。



今年もたくさんの企業・団体に参加していただきました。

チェックシートをまとめて回収して送っていただいた企業・団体です。
ご協力ありがとうございました。

青木信用金庫 (株)アライ
医療生協さいたまケアセンターかがやき
医療生協さいたま埼玉協同病院
エコルシオンエコリサイクルネットワーク
川口化学工業(株)川口工場 川口市食生活改善推進員協議会
川口信用金庫 京セラケミカル(株)本社・川口工場
(株)相馬建設工業 芝児童センター
さしまスローライフ サイボー(株)
(株)そごう・西武そごう川口店
(株)菅土木 ダイシン小泉
戸塚児童センターあすばる
(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ
凸版情報加工(株) (株)日環サービス
(株)ヒラオカ (株)マルエツ
矢島鋳工(株) レンゴー(株) 東京工場

〈チェックシートのコメントから〉

◆「チャレンジエコライフ」わが家では電気の無駄遣いを見直し、すべての電球をLEDに取り換えたところ、前年より電気使用量が1日当たり4%の減少がありました。今後もエコライフに取り組みたいと思います。

◆よく夏にやる「打ち水」は、気分、見た目、体感的に気持ちがよいので、定期的にやっていたら暑さも和らぐと思います。

◆夏の冷房、冬の暖房による電気代の増加が悩みの種です。昼間、子供の公民館に出かけたりしてクールシェアをして節電したいと思います。

参加者のエコライフコメント

まだ使えるよ！



仲町小5年

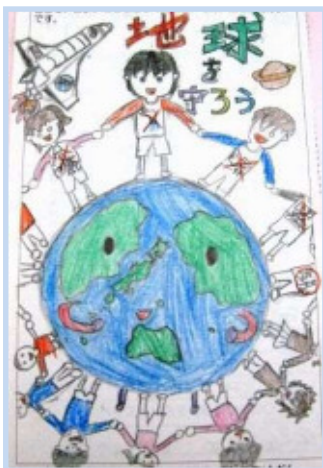
- 私の母は、古くなくても着ないTシャツなどを洗たくし、はさみで切り、ぞうきん代わりにします、Tシャツは、うすいから、細かい所までそうじできて、とてもべんりです。(青木小6年)
- チラシの裏は、計算用紙やメモ用紙に使い、終わったら古紙回収に出す。飲み終わったペットボトルも他の飲み物を入れて使う。(戸塚南小5年)
- つかわなくなったものでフリーマーケットをしました。(鳩ヶ谷小1年)

川をよごさないで！

○わたしの家の近くに川が流れています。そこには、浅く川が流れていて、かめや魚などがいて、たまにきれいな真っ白い羽の鳥がとんできます。しかし、その川は自転車やペットボトル、カンなど、いろいろなものが人間によってすてられています。とても汚れているため、夏はとても臭いです。わたしは、あの川にすむかめや魚や鳥にもうしわけなく思います。(上青木中2年)



戸塚北小6年



前川小6年

水を大事に使ってCO2削減！

- 私は、手を洗うときや髪の毛を洗うときなどに、たくさんのシャンプーや石けんを使っているの、なるべく少ない量にしたいと思います。(西中2年)
- 小さい弟や妹が、水をだしっぱなしにしたときおにいさんのぼくがいつもとめています。(仲町小2年)
- カレーやシチューなど皿にソースがべつとりと付いているものは、パンやご飯でふき取り皿を洗う水が少なくすむようにしています。(本町小6年)

電気を使わなくても大丈夫

- 電気を消して、エコライフのためにろうそくをつくって火をつけたらうれしくてたのしくておもしろかったです。そのろうそくの色は、オレンジとみどりときいろの色をつかったのでたのしかったです。(原町小1年)
- わたしは、ほかにやっていることがあります。それは、電気をつかわないことです。たとえば遊びでいうと、おにごっこや、なんにもつかわない遊びをいつもしています。(上青木小4年)
- ぼくは、電気を使わないように、明るいうちに宿題をするようにしています。(仲町小5年)
- 朝は電気をつけずに外の光を利用する。(青木中央小5年)
- 僕は時々電気を消し忘れてしまうので、意識しておきたいです。めんどうだから、大変だからと問題を放置しておく、後で自分たちの首をしめることになるので、住みよい地球にしていけるために、今からできることをやっていきたいです。(在家中)



芝小5年

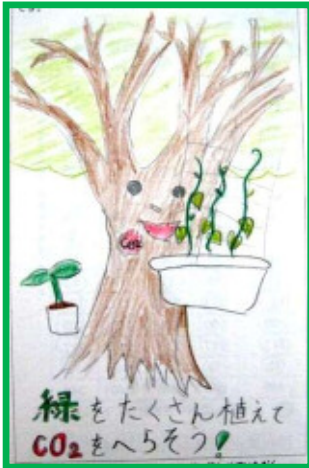
残さず食べることがエコ

- メロンの皮をごみ箱に捨てるのではなく、メロンの皮が大好きなクワガタムシにあげています。(原町小6年)
- 旬の食べ物を食べることは二酸化炭素の削減に関係しているなんて知りませんでした。旬の食べ物を食べるか食べないかで二酸化炭素が5gも減らせるなんて不思議だなと思いました。(戸塚東小4年)
- 食べ物を残すというのは、いただいた命や作った人の気持ちをむだにしている。(鳩ヶ谷小)



青木中央小5年

緑の木々を大切に!



朝日西小5年

○私は最近、木が切られてしまい、だんだん減っていると聞いて「信じられない」と思いました。木は二酸化炭素を酸素にしたり、土砂崩れを防いだり、動物のすみかを作ったり、防音効果、夏の気温を低下させるなど、木にしかできないことがたくさんあり、私たちの生活を守ってくれます。木をかたんに切ってしまうなんてひどいです。木は50~80年かけて成長します。木だって生きていて自分の仕事をやっています。木を切ってしまうのは人を殺すことと一緒です。だから、木が一本でも減らないようにして欲しいです。(領家小6年)

○ボランティアで緑を増やす活動をしているので、できることなら私たちも花など身近な所に植えたりしていきたいと思います。(安行東中1年)

○わたしは、うらを見ていろんなことがわかりました。二酸化炭素をいっぱい使うと動物がこまるし、毎日のように30度ぐらいになります。あともうひとつわかりました。木が二酸化炭素とよい空気を交かんしてくれるのがわかりました。あしたエコライフDAYを協力してできたら木をいっぱいそだてたいです。(鳩ヶ谷小3年)

地球はだいじなみんなの家

○たつまきや洪水被害などの異常気象は、地球の高温化が問題なので、自分たちでできることから始めれば自分たちへの被害も防ぐことができ、白くまやペンギンにも被害がいきません。だからこそ、自分のできることから1つずつやるのが大切だと思います。学校で使うノートなどは、エコマークのついたものを買うなどし、来年のエコライフDAYはすべてに〇がつくようにしたいです。(元郷中)

○よくテレビなどで夜景が映されています。ずいぶん明るくみえますが、本当に必要な明かりなのか。まだ、減らせるものがあるのではないかなと思うのですが? (一般)



青木中央小5年

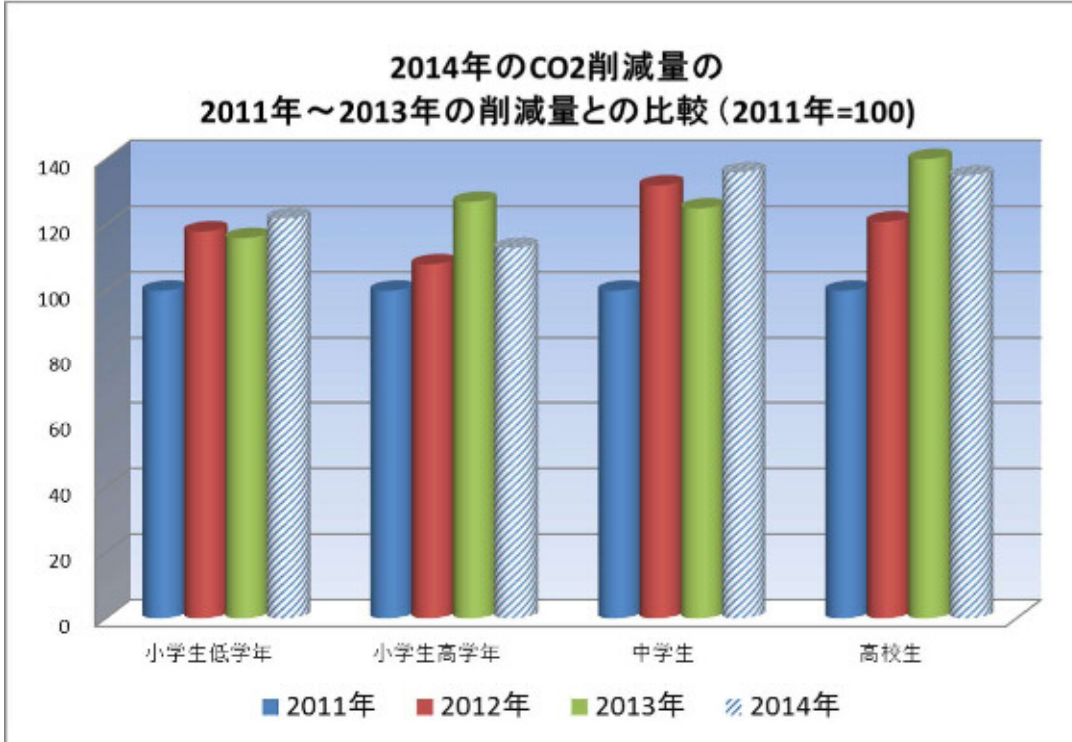
○身近なことから一歩、一歩”! これを一人一人が実践することがとても大切。今の私が地球温暖化のためにしていることは、とてもちっぽけで小さなことかもしれない。でもそれでも私達にできることもあるのならば、私たちの住む地球のために、毎日毎日少しずつがんばっていきたい。今回チェックシートを家族と一緒に記入して、たくさんのことが分かった。しっかりできていたところはこれからもつづけていき、今まであまりできていなかったことは、これから頑張っていく。それをつづけていき・・・「いつかは、私の“この手”で地球を救いたい。」そう強く思う。そう強く他の人にも思ってもらいたい。(幸並中)

★たくさんのコメントやイラストありがとうございました。
コメントは原文のまま掲載させていただきました。

エコライフ DAY サンプル調査について

◆CO₂削減量

エコライフ DAY 参加者のうち、小学生低学年（1～3年生）、小学生高学年（4～6年生）、中学生、高校生・一般の区分から、各 300 人ずつランダムに抽出して CO₂ 削減量を分析しました。



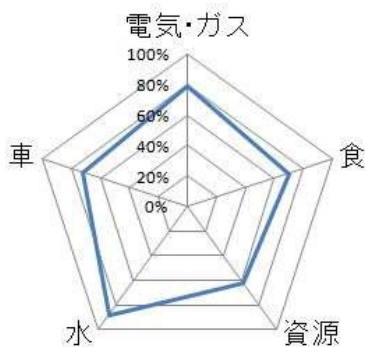
左の図は、2011年の一人当たりのCO₂削減量を100とした場合の2013年までのグラフです。

全体の削減量は前年と横ばいでしたが、小学生低学年と中学生は削減量が増えていました。

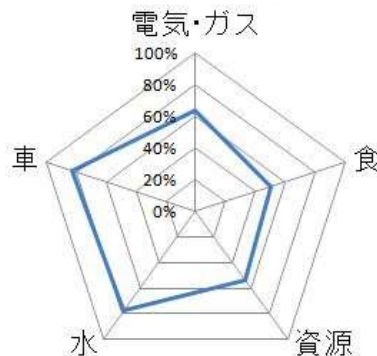
◆分野別エコライフ DAY 実施比率〔電気・ガス、食、資源、水、車〕

次に、エコライフ分野別の実施状況の比率について、小学生低学年及び高学年のグループと中学生及び高校生のグループとの間で対比してみたものが下の図です。

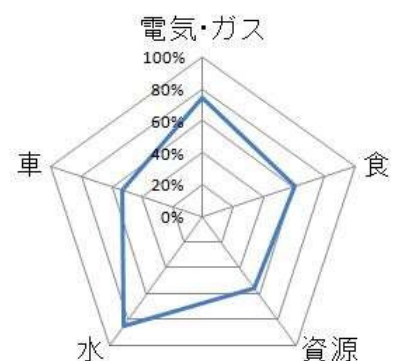
小学生低学年及び高学年



中学生及び高校生



一般



「小学生低学年及び高学年」では、全分野を通じて高い実施状況です。

「中学生・高校生」では、食や資源の分野での実施状況が相対的に低いものの、その比率は前年より増加していました。

「一般」では、食や資源、車の分野で低い実施状況でした。

◆中学生、高校生を対象に、夏休みに行われている“ボランティアスクール”の参加者23人に結果報告に関する作業に協力していただきました。ありがとうございました。



ボランティア体験を終えて

初めてで慣れない仕事に少し戸惑いましたが、少しずつ取り組みました。市内にたくさん学校があって、数がすごく多かったので、とても時間がかかりました。表現内容によって仕分けました。それぞれの個性がたくさん出ていて、上手な作品がいくつもありました。小学生は絵で表現しているものが多く、中学生はコメントで書かれているものが多かったです。選別するまでに、これほど大変で大きな作業をしていたことは知りませんでした。毎年参加しているエコライフデーですが、たくさんの過程を通して知って、その役に少しでも立てたと思うと、少し誇らしく思いました。(岸川中3年)

ボランティアをやってみて

このボランティア活動をやっている中で、一般の人と中学生、小学生のちがいがわかりました。一般人の人たちはあまり意見や感想などを書かないけど、中学生や小学生は、自分の思ったことをたくさん書いている人や、イラストなども入れてポスターのように書いている人もいました。こういうものを見ると、実際は一般人の人よりも子どもたちの方が地球温暖化や地域環境の事を考えているんじゃないのかなと思いました。一般人の人は、もっとこういう活動をした方がいいなどの意見が多かったけど、中学生や小学生は地球や環境の事を考えて、自分たちがどうしたらいいかなどの意見がたくさんありました。(岸川中3年)

生まれて初めてのボランティア

顔も声も性格も知らない10人が集まり、エコライフDAY2014チェックシートの仕分けをした。電気や水、食やごみ、緑など8種類に分類した。そして分類したものを活かしてポスターを作った。チェックシートの中でも特に良いな、おもしろい発想だなと思ったものを厳選し、5グループで5等分した。私のグループは真ん中を開けるようにして貼っていった。微妙にかたむけながら貼るのが難しかった。そして真ん中に大きく「NPO法人川口市民環境会議 エコライフDAY2014」と書いた。遠くからも目を引きやすいようにはっきりとした色で大きくした。おまけにふなっしーまで描いた。このポスターを見てくれた人が少しでも環境の事を考えて周りの人に伝えてくれればいい。初めて体験して、人のためになるって気持ちいいなと思った。



ボランティアの3日間で学んだこと

私はこの3日間、はじめて環境について話し合ったり、集計をしたりデータを表にしたりする仕事をしました。小学校の低学年の人たちは裏の面の感想記入欄部分に、カラフルな色の絵や、たくさんの人たちが環境に対するコメントを書いていた。しかし、高学年や中高生、一般になるにつれて、いそがしいせいや、なかなか多くの感想を書いてくれる人は少なかったです。でも、コメントや絵を書いた人たちの欄を見てみると、これからは環境がよくなるようにエコ活動をしていきたいや、節水・節電を心がけていきたいなど、とても環境についてよく考えている文章ばかりで、私も意識していかなければならない気持ちになりました。特に、小学生の方たちは、それを絵と文章で表現していて、とてもカラフルできれいにまとめられていて、わかりやすく見やすかったです。全体的に見ると、小学生の方が中学、高校の方より参加数が高かったです。だけど、学年が上がるごとに、小中高の削減量はどんどん高くなっていました。このデータを見て、私も改めてCO₂を減らすことができるような生活をしていかなければならないと実感しました。(県立川口高校3年)



こういう取り組みをもっといろんな人にやってほしいし、取り組みがもっと広まればいいと思った。(幸並中1年)

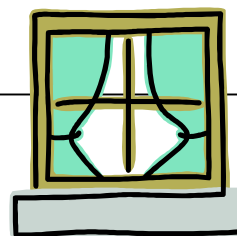
◆CO₂削減量の集計は、集計ボランティアとしてそろばん教室の先生と生徒さんにご協力いただいています。毎年、強力なサポートをありがとうございます！！

川口珠算協会会長 水沼浩様より



今年も暑かった！確実に地球は暑くなっていますよね。15年も前から警笛を鳴らしてくださったことに感謝します。そして、今年も川口珠算協会の精鋭部隊(上級生)が、集計作業を担当させていただきました。今年も、みんな覚悟ができていられることもあって、スムーズにできました。もちろん電気を使わない人力計算機です。集計数が2倍になっても大丈夫です。20周年に向けて、エコライフデーが益々、盛り上がっていきますことをご祈念いたしております。

冬もエコライフにチャレンジしよう！



ご存知ですか？

じつは…**冬の暖房は、夏の冷房の約6倍のエネルギー**を使っているんです。

そこで、毎年夏に実施している「チャレンジ・エコライフ」（夏の1ヶ月間、省エネを意識した生活をしていただく取組み）を、今年は冬（12月）も実施します。この実施にあたり、冬、部屋の暖房エネルギーが一番たくさん逃げる場所である「窓」の対策について、パンフレット配布やセミナー開催、省エネ測定器の貸出しなどのサポートも実施しますので、ぜひ参加してくださいね！

→詳しくは、川口市地球高温化防止活動推進センターのホームページに掲載します。

ぜひ参加して
くださいね～♪



川口市役所環境部

地球高温化対策室長 石坂剛

今年も多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

今年は、1日で減らせたCO₂の総量は昨年比で約1t増え、参加者がエコライフを実践できていることがわかりました。

今年の夏に起きた集中豪雨など異常気象は、エネルギーを利用したときに排出される温室効果ガスの増加と密接な関係があります。このような問題に急な解決策はありません。

まずは、自分たちができることを、今から実践していきましょう。

主催者より

認定NPO法人川口市民環境会議

“川口市には緑が少ないね”そんな言葉をよく耳にします。

緑の木々は、温室効果ガス（主としてCO₂）を吸収し、地球高温化を防ぐ大切な役割を担っています。そして子どもたちが生き生きと過ごすことのできる“街づくり”にも欠かせません。

最近では、家庭でも日射の熱エネルギーを80%もカットすることのできる夏場の“グリーンカーテンづくり”や、フードマイレージにもつながるベランダ菜園づくりが広がりを見せています。

CO₂の削減はまずは身近なところから&エコライフを楽しみましょう！

川口市、川口市教育委員会と共催で実施し、川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会の後援をいただき、また、以下の協力をいただきました。

協力団体：青木信用金庫、(株)アライ、(株)イーアールシー、(株)飯塚兄弟電機商会、イオンモール(株)イオンモール川口店、イオンリテール(株)イオン川口店、(株)イトーヨーカ堂ザ・プライス川口店、医療生協さいたまケアセンターかがやき、医療生協さいたま埼玉協同病院、エコルシオンエコリサイクルネットワーク、大富精機(株)、おやこの遊び広場、かっぱ工業(株)、川口液化ケミカル(株)、川口化学工業(株)川口工場、川口市食生活改善推進員協議会、川口珠算協会、川口信用金庫、(社)川口青年会議所、木風堂、京セラケミカル(株)本社・川口工場、計測サービス(株)川口事業所、コーエー・エコビジネス(株)、(株)コマーム、サイボー(株)、(株)神原興産、さしまスローライフ、(有)三栄商店、(株)三洪エンタープライズ、(有)三喬電機、芝児童センター、(株)菅土木、精工化学(株)川口工場、(株)セブンイレブン川口新井路店、(株)セブンイレブン川口石神店、(株)セブンイレブン川口源左衛門店、(株)セブンイレブン川口東本郷店、(株)相馬建設工業、(株)そごう・西武そごう川口店、ダイシン小泉、東京リッチ産業(株)、銅鉄商事(株)、(株)東武産興、戸塚児童センターあすばる、(株)トップコミュニケーションプロダクツ、凸版情報加工(株)、那須電機工業(株)、(株)日環サービス、(株)ヒラオカ、ブルドックソース(株)鳩ヶ谷工場、(有)本郷自動車、松井商事(株)、(株)マルエツ安行北谷店、(株)マルエツ安行慈林店、(株)マルエツ上青木店、(株)マルエツ川口キュポラ店、(株)マルエツ芝塚原店、(株)マルエツ西川口東口店、(株)マルエツ東川口店、(株)マルエツ元郷店、(株)マルエツ柳崎店、三国コカコーラボトリング(株)川口第一支店・川口第二支店、村上商事(株)、(株)明和工務店、(株)モリチュウ、ヤオコー川口朝日店、矢島鋳工(株)、(株)リカベル、レンゴー(株)東京工場（50音順）

